

# 地域需要創造型等起業・創業促進補助金採択者事例

川端 玲子(かわばた れいこ) 氏 【地域需要創造型起業・創業】(石川県)

古き良きもの、九谷焼の技術を土台に新しい現代の生活スタイルを追求

【事業テーマ】 生活に潤いを与える九谷焼の製造、販売

【設立日】 平成 25年8月1日 【創業の場所】 石川県加賀市

【創業を志した経緯・きっかけはなんですか？】

これまで25年間陶磁器に関わってきました。加賀九谷での修行、県立九谷焼技術者自立支援工房を経て自宅および知人の設備を借りながら制作活動を続けてきました。結婚、育児を経て時間的制約の目処がついたことから、一貫作業を行える工房を構えて創業することを考えました。陶磁器組合からの案内で創業補助金を知り、ちょうどよいタイミングで創業補助金に応募し採択されたことは創業のはずみとなりました。

【現時点での事業展望を教えてください！】

現代の九谷焼は、工業的に大量生産を行う事業者と1点ものを中心にした小規模な事業者が存在し、生地師と絵付師による分業制で、絵付けなど加飾を主にするのが一般的です。当工房は生地と加飾の一貫生産を行うため多品種小ロットに柔軟に対応が可能です。設備についても一般的な電気ろくろではなく古典的な蹴ろくろを用いています。一定速度で回転する電気ろくろに対し、蹴ろくろは回転を自由に調節できるので自然な曲線が生まれます。手に取ったときからだに馴染む感触が得られ、使っていくうちに味わいが出てくると評価をいただいています。当面は 渡来の食器づくりをベースにしっかりとした基盤をつくり、5年をめどに日本の伝統美に加え、現代の生活にあわせた新しい分野の焼き物、インテリア用品など展開し制作・販売して作品の幅を広げていく予定です。

販売は、百貨店、器専門店、ギャラリー展開などを予定しています。

【創業補助金活用のために支援を受けた機関】

(認定支援機関) 北國銀行 片山津支店

(支援内容) 事業計画策定のサポートと定期的な進捗の把握  
資金計画の妥当性検討と確実な履行の管理

